

2026年1月24日実施 熊取検定 合格者番号のお知らせ

2026年1月24日に実施いたしました「熊取検定」の合格者番号をお知らせいたします。
合格された皆さま、誠におめでとうございます。
合格者の方には、後日「合格証明書」および「記念品」を郵送いたします。

■ 上級 合格者番号

014

■ 初級 合格者番号

051

052

053

054

056

058

060

061

062

■ 今回の検定 合格率

区分	合格率
----	-----

上級	50%
----	-----

初級	82%
----	-----

■ 特に誤答の多かった問題と解答・解説

今後受検される方や、復習をされる方の参考として、正答率の低かった問題を掲載いたします。

【上級】

問 11

明治時代初期、役場として使用されていた建物はどこでしょうか？

- ① 中家住宅 ② 来迎寺 ③ 大森神社の社務所

【解答】 ③ 大森神社の社務所

【解説】

明治時代初期、現在の熊取町にあたる地域の行政事務（村役場）は、大森神社の社務所を仮庁舎として使用していました。

その後、明治 44 年（1911 年）に野田地区（旧・熊取町勤労青少年ホーム付近）へ移転し、現在の役場庁舎（野田）へは昭和 38 年（1963 年）に移転しています。

※「中家住宅」は江戸時代に庄屋を務めた名家の住宅、

※「来迎寺」はかつて小学校（知新校）として使用された歴史がありますが、明治初期の役場として使われたのは「大森神社の社務所」です。

問 32

大森神社が「熊取荘の三社」の一つとして信仰を集めていた時代はいつでしょうか？

- ① 平安時代 ② 鎌倉時代 ③ 江戸時代

【解答】 ② 鎌倉時代

【解説】

大森神社は中世（鎌倉時代～室町時代）において、「熊取荘（くまとのしょう）」の鎮守として、**雨山神社・野田神社**とともに「熊取荘の三社」と称され、雨乞いなどの信仰を集めていました。

熊取荘自体は平安時代末期に成立していますが、「三社」としての信仰形態が確立し、地域信仰の中心となったのは中世（鎌倉時代）の特色です。

【初級】

問 7

煉瓦館の煉瓦の積み方の名前は何でしょうか？

- ① フランス積み ② ドイツ積み ③ オランダ積み

【解答】 ③ オランダ積み

【解説】

煉瓦館は、煉瓦造（オランダ積み）の平屋建てで、切妻造・棧瓦葺きの屋根が特徴です。中央部には煙出しと採光・換気を兼ねた越屋根が設けられています。

問 21

熊取町は大阪府全体の面積の約何パーセントでしょうか？

- ① 約 0.5% ② 約 1% ③ 約 1.5%

【解答】 ② 約 1%

【解説】

熊取町の面積は約 17.24 平方キロメートル、大阪府全体の面積は約 1,905 平方キロメートルです。

割合を計算すると約 0.9%となり、最も近い「約 1%」が正解です。

以上